

現在、どのような治療が行われているのですか？

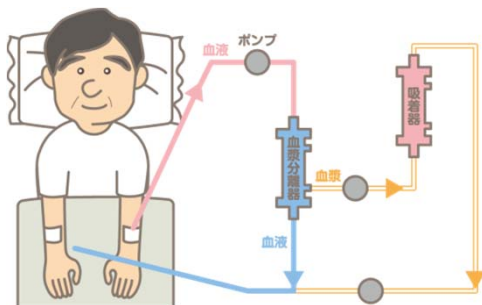
薬物療法

- 抗血小板薬：血栓（血液のかたまり）をつくる際に重要な働きをする血小板が活発に活動することを防ぎます。
- 抗凝固薬：血栓を出来にくくする働きがあります。
- 血管拡張薬：血管をひろげて血液を流れやすくする働きがあります。



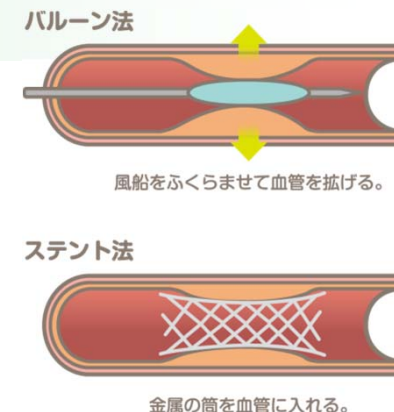
血漿吸着療法（悪玉コレステロールの除去）

薬物治療で十分な効果が得られず外科的治療が困難な場合には、動脈硬化の原因の一つとされる血漿中のLDLコレステロール（悪玉コレステロール）などを除去する目的で血漿吸着療法が用いられます。この治療法は、専用の機械を用いて体から血液を取り出し、吸着器でLDLコレステロールを取り除きます。



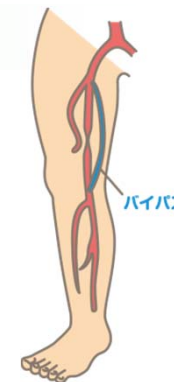
血管内治療

カテーテルと呼ばれる管で狭くなったり詰まった血管の部分の治療します。入院期間も数日と短く、外科的な手術に比べて患者さんの負担が少ないのが特徴ですが、全ての患者さんにこの治療法が実施できるわけではありません。



外科療法（バイパス術）

動脈硬化が進んでいて、血管が詰まった部分が大い場合には、詰まった部分の近くに新しい血液の通り道（バイパス）を作る手術が行われます。



ただし、これらの治療を行っても症状の改善効果が得られない場合や、症状が再発する場合があります。下肢の切断を余儀なくされる患者さんが年間1万人以上いらっしゃるのが現状です。よって、このような状態を克服する新しい治療が望まれています。